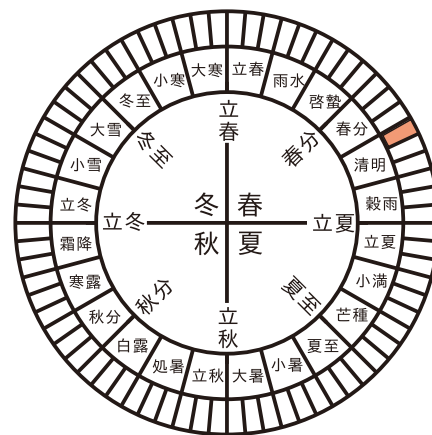


清明 (すべてのものが清らかで、生き生きとするころ)

初候 玄鳥至る(つばめきたる)

ツバメが南から渡ってくるころ  
(ツバメさんは、秋から冬を熱帯で過ごす渡り鳥です)

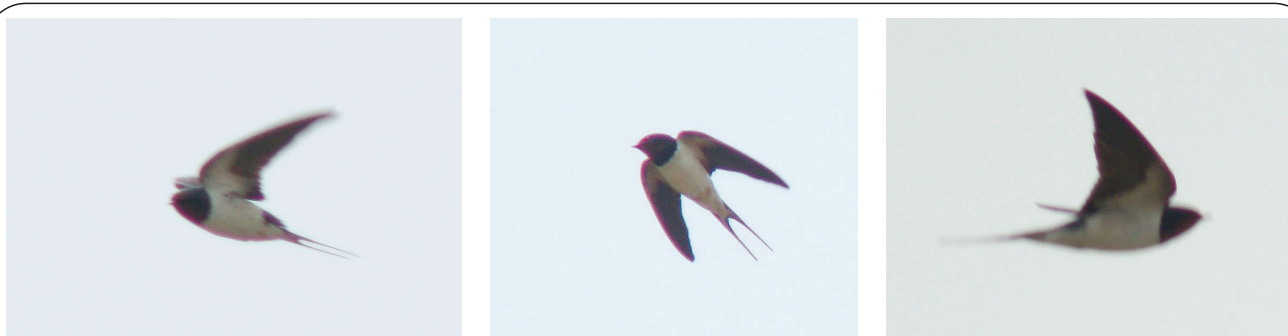


みなさんこんにちは、むかっち博士です。  
春の便りが届きつつある今日この頃、お元気で過ごされていますか？  
旧暦の「雨水（うすい）」は雪が雨へと変わり、氷が解け出し、農耕の準備が始められる目安の時期だそうです。  
仙台では、3月は暖かな気候が続いたものの、4月に入ってから冷え込みが厳しくなっています。

でも、農村に出かけて、地面に目を向けると、3月末までは背の低かったふきのとうがずいぶんと伸びて花を咲かせ、タネツケバナやナズナ、ハコベ、ミミナグサは白い花、ヒメオドリコソウやホトケノザはピンク色の花、オオイヌノフグリやタチイヌノフグリは青い花をつけていて、野原はとても華やかです。顔を上げると、スズメやカラスが巣材を運び、ツバメが飛び交い、耳を澄ますとウグイスやホオジロのさえずりが聞こえ、田んぼの中からは、シュレーゲルアオガエルの『きりり、きりり』という声や、アマガエルの『きやっきやっきやっ』という声が、まだ少しですが聞こえてきます。

いきものたちは着実に春の準備を進めています。私も出遅れないように準備しなきゃ。  
春の便りを感じられるこの季節。 のんびりお散歩してみると、いろんな発見があると思います。  
何か面白いものを見つけたら、教えてもらえると嬉しいです。

(清明 初候 玄鳥至る むかっち博士)



つばめ



むかい＊いきもの研究所  
Mukai\*ikimono Labo.  
E-mail ikimono@mukai-ikimono.com  
FB page <https://www.facebook.com/mukai.ikimono/>

E-mail



FBページ

